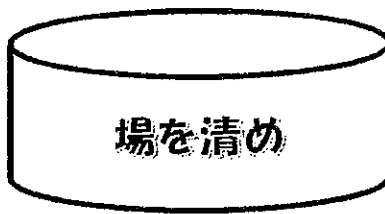
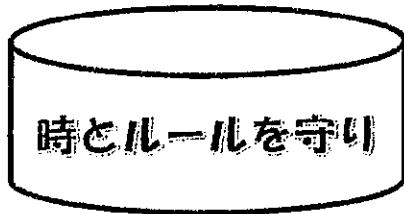


牧之原中学校での生活について

生徒指導部

1 牧中で生活するにあたって

◆3つの柱（3か条）



①時とルールを守る

決められた時刻（登・下校時刻など）や時間（授業前の1分間黙想、そうじの10分間）

ルール（服装頭髪のきまり、宿題やプリントの提出、授業に必要な物の準備など）

②場を清める

そうじ（時間いっぱい） せいりせい頓 身なりの清潔さ

③礼を正す

あいさつ・返事・会釈（声を出さない浅い礼） ことばづか めうえの人への態度

→自分に対する印象が決まる

◆服装・身なりについて

季節に応じて、冬服・中間服・夏服が定められています。更衣時期は連絡があります。

別紙にくわしくのせてあります。

「服装の乱れは心の乱れ」気をつけましょう。

先生からのお願い

できなくても一生懸命やっていればだれかが助けてくれるし、不平不満や愚痴（ぐち）、悪口ばかり言っていると人は自分から離れていきます。

そんなふうにして「自分のしたこと」は、いつか自分に返ってくるものです。自分にかかわるすべてのことを大事にすることが、結局は自分を大事にすることにつながると思います。

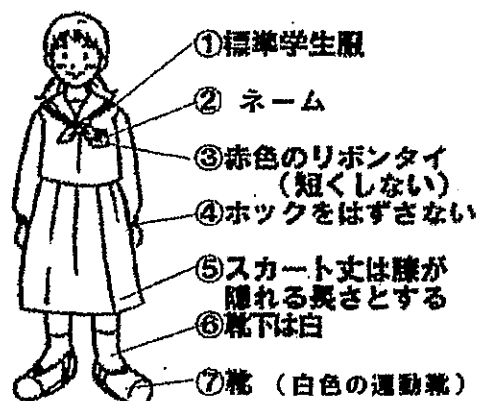
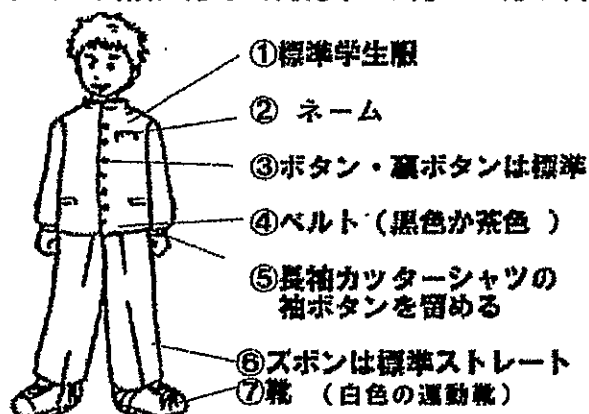
R7 牧之原中の1日の生活

登 校	・ 正門を通過する時刻は、<u>7：45～8：05</u>の間です。 ・ 校内および正門に通じる両側の坂道では、自転車は押して歩きます。(下校時と同じ) ・ 登校の際は、<u>制服着用</u>で必ず<u>タスキ</u>をつけます。(自転車通学生の登校・雨天時の登校においてはジャージ着用可 ※別紙参照) ・ 生徒会があいさつ運動を行っています。気持ちの良いあいさつをしましょう。
朝	教室に入ったら、 ・ 友達とあいさつをしましょう。 ・ <u>提出物は8：10まで</u>に出します。お金などは先生が来た時にすぐ渡します。 ・ 8：15から朝読書です。朝の会が始まるまで<u>無言で読書</u>をします。
授 業	・ 授業間の10分間は<u>次の授業の準備の時間</u>です。(トイレもすませる) ・ <u>授業の開始1分前は、総務の号令で黙想</u>をします。落ち着いた雰囲気です。 ・ 授業の初めと終わりは、心を込めてあいさつしましょう。
給 食 12:35～ 13:10 (B校時は 12:25～ 13:00)	・ 給食当番は、<u>4校時終了から5分以内にコンテナ室へ向かいます(並んで移動)</u>。 ・ コンテナ室への行き帰りは、<u>必ず廊下を通行</u>します。 ・ 当番以外の方はトイレ、手洗い、うがいをすませ、<u>4校時終了から10分以内に着席</u>して静かに待ちます。配膳が始まったら、自分のグループの分を配ります。 ・ マナーを守って楽しく食べましょう。(食べながら大声で話さない、席を離れない) ・ 食べ終わったら、牛乳パックの片づけとお盆洗いをすませて席に着きます。 ・ 当番はまず後片づけ、それから歯磨きをします。他の人はすぐに歯磨きをします。
昼休み	・ A校時の日は、歯みがきが終わったら体育服に着替えて過ごします。 ・ 予鈴が鳴ったら活動をやめてそうじ場所に行きます。 ・ 教科連絡係は、次の日の授業に必要なものを教科担任の先生に聞いておきます。
そうじ (10 分間)	・ 時間いっぱい掃除をします。 ・ 作業終了の放送で掃除を終え、後片付けをし、着替えてから5校時の準備をします。
帰りの会 ～	・ その日の<u>最後の授業が終わって10分後</u>に始めます。配布物係は会の前に配布を済ませます。 ・ <u>必ずタスキを着用</u>して、会を始めます。 ・ 完全下校時刻(正門通過時刻)は季節ごとに決まっているのでそれを守って下校します。
その他	・ <u>服装のきまり</u>を守って過ごします。※別紙参照 ・ 他の教室には、許可を得てから入ります。 ・ 学用品の貸し借りはしません。 ・ マスクやカイロは、自分の家で処理します。

※このほかにも、いろいろな約束事があります。きまりを守って、楽しく有意義な学校生活を送ろう。

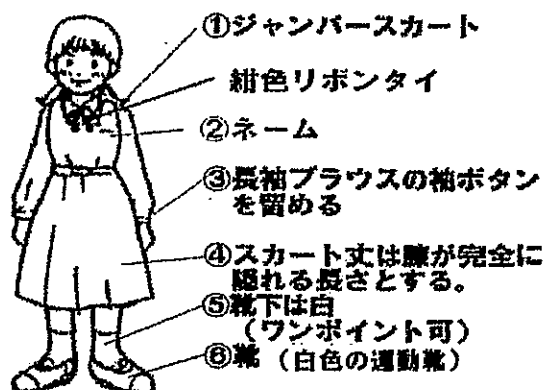
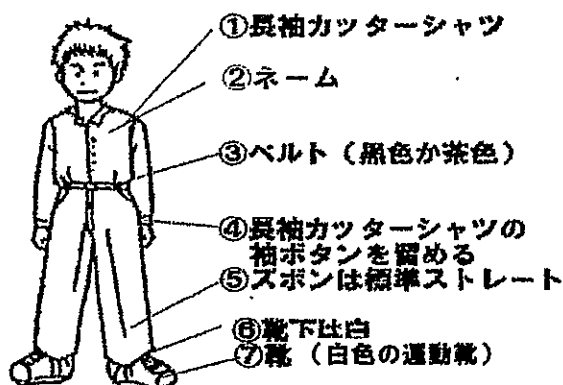
令和7年度 服装規定 牧之原中学校

冬服について 気候に応じて対応(11月～4月を目処に)



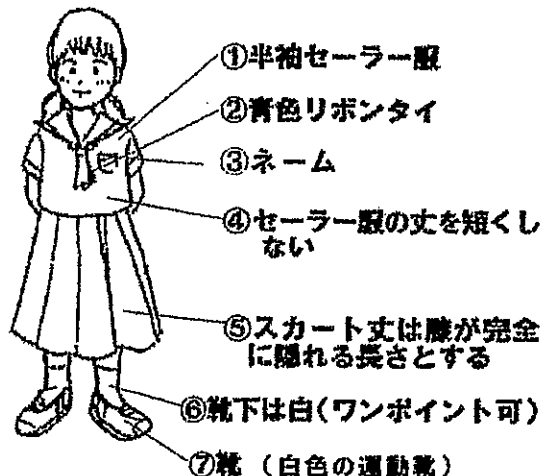
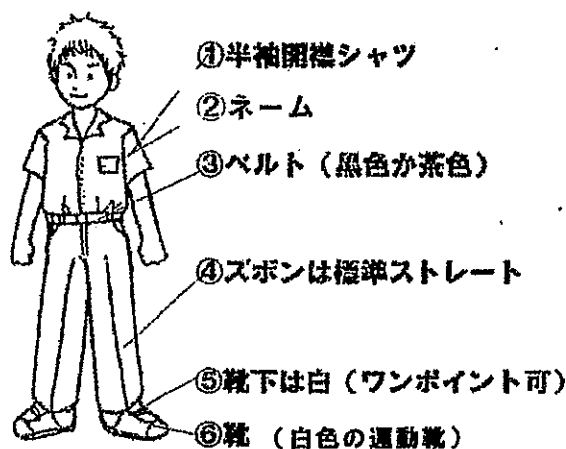
- ① 寒い場合は学生服の下にセーター、トレーナー等(華美でない黒、紺、茶、濃灰等)の着用およびカイロを使用してもよい。カイロは持ち帰って処理すること。
- ② 厳寒期(12月～2月を目途)は登下校時にウインドブレーカー、ネックウォーマー、マフラー、手袋を使用してもよい(華美でないもの)。登校後は更衣室で速やかに外すこと。
- ③ 自転車通学生は中間服移行期間から防寒着を使用してもよいが、安全に運転するため空気抵抗が大きいものや裾が長いもの(ダウンジャケット、ベンチコート等)は着用しない。
- ④ 女子は厳寒期に黒いタイツを着用してもよい。
- ⑤ 制服の下にジャージを着用しない。
- ⑥ 体調不良等の特別な事情がある場合は、必ず先生の許可を得てから調整すること。

中間服について 気候に応じて対応(5月, 10月を目処に)



- ① 肌着(インナー)を必ず着用する。(体育服を肌着にしない)

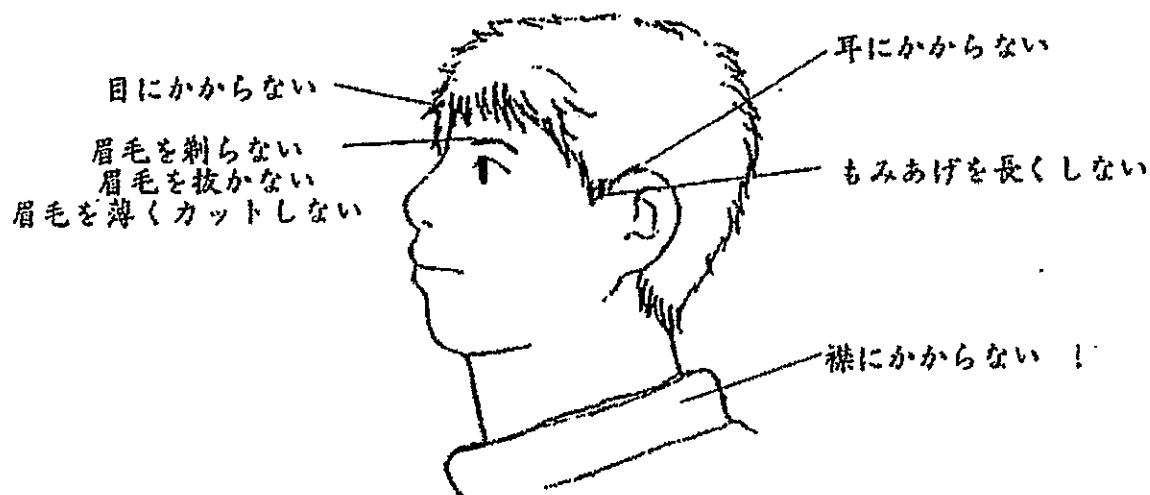
夏服について 気候に応じて対応(6月～9月を目処に)



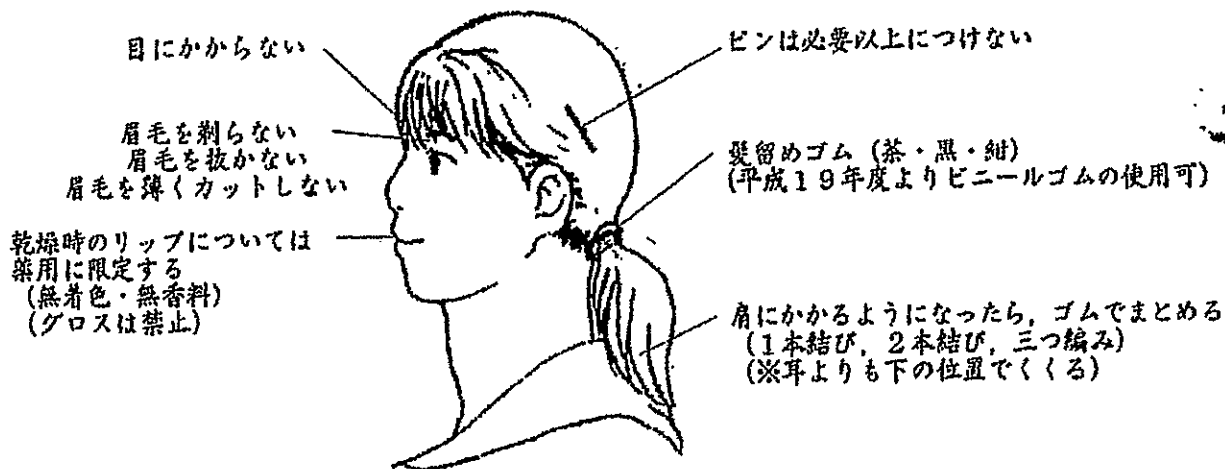
- ① 肌着を必ず着用する。(体育服を肌着にしない)

頭髪等について

男子



女子



服装・頭髪に関する確認事項

- (1) 自転車通学生は、体育ジャージでの通学を認めるが、登校したら必ず制服に着替えること。
- (2) 自転車以外の通学生は、原則制服で通学するが、雨天の場合は体育ジャージでの通学を認める。登校したら必ず制服に着替えること。
- (3) 肌着は白を基調とした華美でなく柄のないものとする。ハイネックは不可。
※ 女子が夏服着用時に下着が透けて見えるのを嫌がる場合は濃い色の肌着を着用することは可とする。
- (4) パーマ、脱色や染色はしない。
- (5) 整髪剤は使用しない。
- (6) 制汗剤、汗拭きシート等は無香性のものを使用する。香水は使用しない。
- (7) 靴下はくるぶしが完全に隠れる白色のものとする(ワンポイント可)。
※ 足底が黒・紺・グレーのものを含む。
- (8) 服装や髪形等について特別な事情がある場合は、先生に相談すること。

その他

- (1) 学習に必要なものは持ち込まない。
※ 持ち込んだ場合、当該学年で保管し、後日、保護者に返却する。
- (2) 更衣場所は次の場所とする。更衣の時間以外は入らずドアをオープンにしておくこと。
1・2年…男子更衣室(1年1組横) 女子更衣室(絆学級横)。
3年…3年更衣室(男女)

冬季の防寒着について

- ① 寒い場合は学生服の下にセーター、トレーナー等（華美でない黒、紺、茶、濃灰等）を着用してもよい。またカイロを使用してもよいが、持ち帰って処理すること。
- ② 厳寒期は登下校時のみ、ウインドブレーカー、ネックウォーマー、マフラー、手袋を使用してもよい。ネックウォーマー、マフラー、手袋は華美でないものとする。また、登校後は更衣室にて速やかに外し、下校する前に着用する。職員室等へは外してから入室する。

※自転車通学生…中間服移行期間から防寒着を使用してもよい。安全に運転するため、空気抵抗が大きいものや裾が長いもの（ダウンジャケット、ベンチコート等）は不可とする。
- ③ 女子は厳寒期に黒タイツを着用してもよい。
- ④ 制服の下にジャージを着用しない。
- ⑤ ハイネックのインナーは着用しない。

○ マフラー・ネックウォーマー・手袋について

- ① 前提、原則 → 登下校時のみ 着用する。
→ 登下校以外の学校生活での場面で着用することはない
- 例外 → 駅伝・持久走大会、県下一周駅伝応援など。

登校したらすぐに更衣室で外し、下校する前に着けること。